

要望事項 (優先順位 左北自治連 1, 花脊 1, 別所 1, 広河原 1)

花脊峠のトンネル化について

要 旨

花脊峠のトンネル化については、平成26年10月27日に、市会本会議において、請願が全会一致で採択されました。

このことを受け、当会や洛北自治会連絡協議会において平成26年度から事業化に向けて予算の確保を京都市にお願いしてきました。しかし、平成28年度の建設局の回答においても、全会一致で請願が採択されたことについて、誠意が感じられません。

平成28年度洛北自治連合会連絡協議会からの要望に対する回答において、「施工ヤード、掘削用大型機材、大量の掘削残土を搬出するための道路整備が必要であることなど、技術的に克服すべき課題が多くあるとともに・・・」とありますが、技術的課題に対しては、現在、日本の土木技術において、花脊峠トンネル化に関して、それほどないものと考えます。

そして、道路整備が必要であれば

1 平成〇〇年度までに花脊峠のトンネル化についてペーロケを行い、施工ヤードの確保と掘削用大型機材の搬入に伴う道路整備を行います。

2 平成〇〇年度までに国に対してトンネル化の予算要望を行います。

等の具体的な回答を希望します。

以上のような、地元民に納得してもらえる具体的な回答を要望します。

**回 答
(建設局)**

本市では、非常に財政状況が厳しい中、市民の皆様の安心・安全の確保や京都のまちの持続的な成長を支えるため、平成28年度末に、平成29年度から平成32年度の間における事業実施路線やその選定に係る考え方を、「今後の道路整備事業の進め方」として定め、通学路等における安全な歩行空間の確保や緊急輸送道路の通行機能の確保などに重点的に取り組んでいくこととしております。

平成26年10月の市会本会議において、全会一致で請願「花脊峠のトンネルの実現」が採択されたことを重く受け止めているところですが、市内の多くの路線で整備期間の延長や一時休止を行っている中、大規模なトンネルを含む本事業については、その整備に巨額の事業費を要することから、早期の事業着手は困難な状況です。

今後、事業実施中路線の進捗状況や財政状況等を踏まえたうえで、中長期的にならざるを得ませんが、事業化に向けた検討を行っていくとともに、トンネル整備の際に必要な大型機材や掘削残土の運搬経路となる、京都広河原美山線(鞍馬北工区)の道路整備を進めてまいりますので、御理解いただきますようお願いいたします。